

すくすく3♥9で育った
小学生女子3人組 朗読劇を熱演！
「すくすく劇団レンメノコ」



コロナ禍に負けるな

2月20日、しらおい創造空間「蔵」を会場に開催された「おはなしと音楽の会」。ストーリーテリングのボランティアなどに交じり、朗読劇「まんじゅうこわい」「はだかの王さま」を舞台上で披露。表情豊かに余韻を持たせた語り、会場から盛大な拍手が沸きました。

白老小6年の清水悠那(12)さん、中倉こはる(12)さん、花田幸希さん(12)。3人とも幼い頃から町内の子育て拠点・すくすく3♥9を利用していた、同所のいわば“卒業生”です。昨年春、清水さんが「コロナ禍の中だけどもみんなに元気を出してもらえることを」と友達に読み聞かせ活動を発案。清水さんのお母さんが小学校で読み聞かせボランティアをしていることもあり、

グループ名は「すくすくで育てられた」「3人の女の子(アイヌ語でレンメノコ)」から名付けたといいます。結成後は、同所や認定こども園などで読み聞かせや人形劇でお姉さんぶりを発揮し始めました。

「ここでお茶が一杯怖い…」

「蔵」では初の朗読劇を披露しました。「まんじ

ゅうこわい」では、あぐらをかいたりしなら、古典落語の名作をじっくりと軽妙な語りで披露。

「お話しかたらんば」さんや町内在住のピアニスト・



左から清水さん、花田さん、中倉さん

太田亜紀子さんらの応援と、この日に備え練習を重ねたかいもあり、結果は大成功。「みんな笑っていて反応がうれしかった」と、やり切った3人に充実感が沸きました。

3月末には小学校時代最後を飾ろうと、オリジナルの新作をすくすく3♥9で披露しました。そんな意欲的な3人にはそれぞれの家族をはじめ、同所を運営するお助けネットの面々という強いサポーターがついているよう。「4月からは中学生となり忙しくなりますが、時間のある限り続けていきたい」と清水さんは話していました。

小学生が畳製作に挑戦

虎杖小学校の5、6年生児童16人が、畳職人さんの指導を受けながらミニ畳の製作に励み、日本文化の一端に触れました。

国の委託を受けた北海道職業能力開発協会の若年技能者人材育成支援等事業を活用しました。同校は昨年、同事業で印章彫刻体験を実施しています。

この日は授業参観日ということもあり、職人さんのお手本を見学した児童らは、父母らと力を合わせ製作。20センチ四方の板に畳表をかぶせ、へりを



ホチキスで丁寧にとめ完成させていました。本間優奈さん(12)は「へりを作るのが難しかった。いい体験でした」と出来栄えを満足げに話していました。(2月24日)

えんじの広場

認定こども園 海の子保育園

◆オンライン交流保育

内容	月日	時間
お楽しみ会	4月14日(水)	10時~11時

お子さん(未就園児)と一緒に参加できるオンライン交流保育を開催します。スマートフォンまたはカメラ付きパソコンで参加できます。申し込みは右記QRコードを利用してください。

詳細 同園 ☎87-2481



認定こども園 白老さくら幼稚園

◆令和3年度 たんぼぼ教室のお友達募集

対象 2歳児(令和3年4月2日時点)
保育日 月・水・金曜日(9時~11時30分)
保育料 月額5,000円(おやつ代込み)
(初回のみ教材費など別途支払いあり)

申し込み 同園で願書を配布しています。

詳細 同園 ☎82-2640